



第48回 全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会

全道優勝大会



最終決戦！ 優勝はどのチームに！！

大会最終日、心配されていた天候も回復し、準決勝2試合と決勝が行われたが、激戦を勝ち抜いたチーム同士の激しい戦いが繰り広げられ、全てのチームが全力を出し切った素晴らしい試合となった。

準決勝を制した白糠町職と北広島市職労による戦いは、北広島市職労が、白糠町職の追い上げを退け、初優勝を果たし、今年度の頂点に輝いた！

準優勝した白糠町職チーム、昨年度優勝した知内町職チーム、開催地の札幌市職連とともに、9月に札幌市・江別市で開催される全国大会へ出場する。



準決勝



ニセコ町運動公園野球場 白糠町職 6 - 4 石狩市職労

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
石狩市職労	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
白糠町職	2	0	0	1	3	0	0	0	×	6



初回、石狩先発の平田投手の立ち上がりを攻めた白糠は3安打を集中し2点を先制。序盤両チームともあと1本が出ず両投手の粘りの投球が続く。4回白糠はこの回先頭の清野選手がレフトスタンドへホームランを打ち石狩を突き放す。1点の遠かった石狩は5回2アウト1、3塁から4番鈴木選手が右中間を破る3塁打で2点を返すと続く5番薩来選手がツーランホームランを放ち一気に逆転。逆転を許した白糠もこの回から変わった獅子内投手からノーアウト満塁のチャンスをかきし3点をあげて再び逆転をし主導権を渡さない。石狩は9回1死2、3塁と一打同点のチャンスをつくるも最後まで白糠田中投手をとらえることができず白糠が逃げ切った。昨年の準々決勝の再現となった1戦は昨年に引き続き白糠が勝ち石狩はリベンジを果たすことができなかった。

倶知安町営野球場 北広島市職労 3 - 0 新冠町職

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
新冠町職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北広島市職労	0	0	0	2	1	0	0	0	×	3



北広島先発の名和投手は1回3者連続三振を取り絶好のスタートを切る。一方新冠先発の原口投手も無難な立ち上がりを見せ3人をあつさり打ちとる。4回北広島は先頭打者が四球を選び続く4番波多野選手が今大会2本目のツーランホームランを放ち2点を先制。5回にも1点を追加しリードを広げる。投げてはエース名和投手が新冠打線から16奪三振をとる好投で勝利し決勝戦へコマを進めた。同じく昨年の準々決勝の再現となった1戦は北広島が勝ちリベンジを果たすことができた。



決勝戦

ニセコ町運動公園野球場 白糠町職 3 - 11 北広島市職労

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
北広島市職労	0	0	0	2	9	0	0	-	-	11
白糠町職	0	1	1	0	0	0	1	-	-	3



両チーム無得点でむかえた2回裏白糠町職の攻撃は北広島市職労のエラーで1点を先取した。その後3回にも1点を追加した。追いつきたい北広島市職労は4回表に4番波多野選手が四球で出塁すると5番柴田選手がレフトへのツーランホームランで同点に。勢いに乗った北広島市職労は5回表1番木川選手のレフト前ヒットから竹内、名和、



安井選手などの長打による連続打点により一挙に9点をあげる猛攻を見せる。投げたのは3回から登板の北広島市職労の名和投手が強力な白糠町職打線を抑える安定的なピッチングを見せた。試合は7回コールドで北広島市職労が勝利し、初の全道の頂点に立った。白糠町職は7回裏に1点を返すもあと一歩及ばず、惜しくも涙をのんだ。

